

花巻市議会交流研修会

2017年11月22日 水曜日 15:00

講師:仙台大学教授・他
千葉 喜久也

演題：子どもの貧困と支援のあり方

1.子どもを取り巻く状況

- ①6人に1人が貧困。相対的貧困としては、世界の中で高い方
- ②母子家庭のうち、2人に1人が貧困。
- ③運転免許証と高卒が必須な社会。

2. 保護者、家庭を取り巻く状況

- ①格差社会、無縁社会、ワーキングプア
- ②生活保護、就学援助者の増加
- ③五重の排除
- ④規制緩和、新自由主義がもたらす問題

3. 子どもの貧困の定義

「子どもが経済的困難と社会生活に必要なものの欠乏状態におかれ、発達の諸段階におけるさまざまな機会が奪われた結果、人生全体に影響を与えるほどの多くの不利を負ってしまうこと。」

- ・日本の福祉は家族福祉が根底。→戦後、この家族が崩壊してきた
- ・家族は問題を抱えると固まる。殺人事件の半分は家族内。虐待の温床。

4. 相対的貧困とは

- ・等価可処分所得が全国民の中央値の半分に満たないこと。
- ・国によって貧困の水準が違う

5. 貧困の連鎖

- ①貧困家庭では進学率も低い。学力が低い。健康面でも入院率が高い。
- ②就職に影響し、大人になってからも貧困になりやすい。

6. 貧困連鎖解消に向けた取り組み

- ①学校、教育委員会との連携
- ②自立、就労支援に向けた取り組み
- ③食事、居場所作りによる安定した環境整備への支援

7. 地域における支援体制

- ①地域福祉計画、地域福祉活動計画への位置付け
- ②行政の庁内体制の整備
- ③地域の支援体制づくり → ソーシャルキャピタル
当事者も巻き込んだ体制が必要
- ④子育て支援から子育て支援へ → 働いている親への支援から子どもに直接働きかける支援へ
- ⑤地域の中で地域の将来を担う子どもを育てる事が重要

事例) →さいたま市の「さいたまユースサポートネット」…学習支援教室[居場所、学習支援、就労支援など包括的な支援]

<http://www.saitamayouthnet.org>

